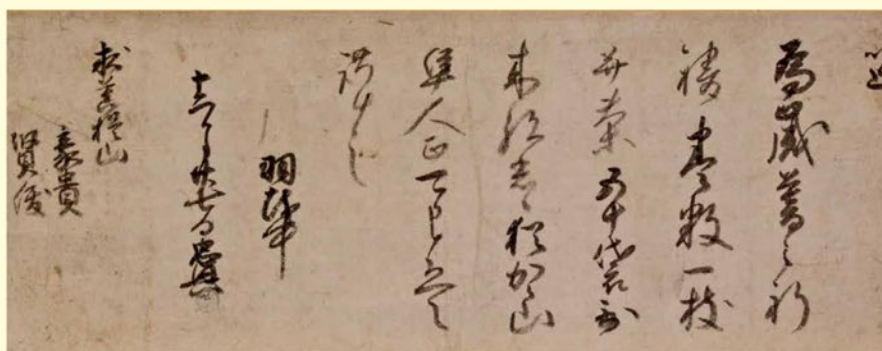


## くぼて 求菩提のお茶

その昔、求菩提山は「<sup>くもいでさん</sup>雲出山」とも呼ばれ、<sup>あさぎり</sup>朝霧の多い土地でした。そのような土地ではおいしいお茶ができます。求菩提山でもお茶はさかんに<sup>さいばい</sup>栽培されていました。

ふもとの<sup>ちいき</sup>地域（<sup>いわや</sup>岩屋・<sup>ごうがわ</sup>合河・<sup>よこたけ</sup>横武）では、今でもお茶を栽培しています。



求菩提山から<sup>せいぼ</sup>お歳暮にお茶を<sup>ふくろ</sup>50袋送った時のお礼の手紙が<sup>ほそかわただおき</sup>細川忠興（※）から届きました。

※細川忠興とは…江戸時代はじめ頃の<sup>こくらはん</sup>小倉藩の<sup>とのさま</sup>殿様。

## たうえさい お田植祭

今も求菩提山に伝わる<sup>やまぶし</sup>山伏たちのお祭りです。農作業の様子をユーモラスに<sup>えん</sup>演じ、<sup>ごこくほうじょう</sup>五穀豊穰（<sup>ほうさく</sup>豊作）を<sup>いの</sup>祈ります。

